

### 入山辺で開催！市長と住民の「こんだん会」



令和4年11月1日現在

世帯数	850戸
男	899人
女	948人
総人口	1,847人

8月29日(月)に入山辺公民館において、入山辺地区住民と市長との「こんだん会」(臥曇市長にアタック！地域の元気な声を届けよう)が、市長、発言者、傍聴者、関係者を含め29名で公民館大会議室で開催された。

事前に、会議を開きテーマを「住み慣れた地域で元気に暮らし続けていこう」と決め当日を迎えた。

市長あいさつの後、意見発表が行われ、内容は①入山辺の概要について②入山辺地区の将来ビジョンを考える会の報告③信州大学寄付講義「松本市の魅力ゼミ」受講生3グループの報告④地区外・県外から入山辺へ引越された方2名の報告⑤フリートークで3名の報告であった。

それぞれの、立場からの報告や提案に対し市長がひとつずつコメントをする形で約2時間行われた。信大生から、入山辺の魅力

を生かした提案として、①特産品を生かした新たなイベントの開催②地域を発信する拠点づくり(例：信州大学近くで、入山辺の食を提供する場所)の提案③入山辺地区への短期移住の提案(入山辺に住んでみるじゃん：短期間の空き家利用)④入山辺を盛り上げよう提案(空き家付き農地の貸し出し利用)

◎市長から「入山辺住人の方が、移住などについて、どのような方にターゲットを絞って、来てもらいたいのか」実情を踏まえて検討が必要ではないか。実際に入山辺へ移住してきた2人からは、移住に至った経過や、実際に住んでみての感想が語られた。移住のきっかけは景観・気候・風土」住んでみると不便なところもあるが、住みやすい地区であることが話された。

◎市長から、住居だけでなく、生活をしてくれるために必要な環境(仕事、買い物、通



学等)も重要な要素なので併せて考慮する必要がある

フリートークでは①地区の子どもの置かれている状況②高齢者の生活の実態③生活道路の雪かきの現状

について

◎市長から、どの課題も問題意識は持っているのですが、今後地域住民の皆さんと情報交換を進め一歩でも二歩でも改善できるように勧めたい。

最後に、参加しての感想として、今まで、積み上げてきたものを次代へどのように継承・発展させるかが課題。「こんだん会」で出されたアイデアや課題を若い世代や移住者の声を聞きながら、考えていかなければならない。アイデアの種を「そんなことでいい」と思うのではなく、種を発芽させ、どんな花を咲かせるか、入山辺の住民たちの力が試されていると感じた。

(館報編集委員長 朝倉 康直)

### 3年ぶり！第44回入山辺地区文化祭開催！

新型コロナウイルスの影響で令和2年以降開催が遠のいていた入山辺地区文化祭が今年第44回を迎え11月5日(土)に3年ぶりに開催されました。また、同時に町会対抗ゲートボール大会も行われました。

例年行っているステージ発表は新型コロナウイルスの影響により中止となったものの、作品展や各種団体の物販を中心に行い、来場数は200人を越え、大きな賑わいを見

せました。

なかでも、「ニューススポーツ体験コーナー」は4種のニュースポーツをゲーム方式で行い、得点に応じてお菓子がもらえるゲームとして、子どもを中心に幅広い世代が参加し、楽しめました。参加者の大輪芳江さんは「初めてやってみただけ、とても楽しかった。またやりたい。」と話しました。

それでは、文化祭の様子を写真でご覧ください。



ニューススポーツ体験コーナー



作品展



町会対抗ゲートボール大会



わたあめ・ポップコーン配布

まだまだ知らぬなら!? 我が町会の自慢!

舟付・宮原町会

町内公民館長 村田 厚
来年は「ウサギ」、兎年といえは宮原神社の建て御柱。御柱祭に向け、今年北入氏子衆の力を合わせた中での切り倒し。四苦八苦しながらでも着実に準備が進められています。

舟付・宮原の公民館行事としては、親睦と心身の健康維持を目的に8月のお盆頃にグラウンドゴルフを毎年行っていました。しかし、今年もコロナのため断念。

喜んだ子供に返るひと時が再び訪れる日が待ち遠しいです。



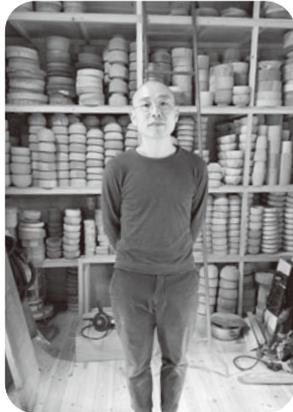
大仏・一の海町会

町内公民館長 石原 幸一
大仏・一の海町会に住む宮下さんご一家をご紹介します。宮下智吉さん明日香さん夫妻とお子さん2人さなえさん、ことのさんの4人家族で東京から令和2年10月に転入されました。

宮下さんは漆の器を木地から作る仕事をしており智吉さんの工房を探していた時、義父から紹介された大仏の景色と環境に、一目惚れし直ぐに、引越しを決めたそうです。

宮下さんから一言いただきました。

「毎日の景色が本当に綺麗で、町会の皆さんも優しいです。大仏に来て良かったです。」



入山辺福祉ひろば主催! きのこを楽しむ日開催

今年も、福祉ひろば主催の秋の恒例行事「きのこを楽しむ日」が、秋晴れの9月30日に、5歳から81歳までの、22名の参加でコロナ対策をしながら、車5台に分乗し、おやつを持ちながら三城方面の山に向かいました。

きのこの出が、例年より悪いようで、期待していた沢山のきのこの収穫をすることが出来ませんでした。青空の下おしゃべりをしながら山の中を散策でき、とても良い時間を過ごすことが出来ました。(参加者 朝倉 康直)



きのこを必死で探す参加者



入山辺地区平和祈念式典

10月21日(金)に入山辺公民館慰霊碑前にて、平和の尊さやいのちの大切さを後世に継承していくことを目的に、入山辺地区平和祈念式典が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、規模縮小し、町会長、各種団体長を中心に9名が参列し、入山辺地区戦没者を追悼し、献花を行いました。



中学校に向けて



山辺小学校 6年生 松崎 大樹君

中学校にむけて、がんばりたいことが、いくつもある。一つ目は、生活です。ほくは中学校では、小学校で習ったことを活かし、生活していきたい。そのために、今のうちに小学校生活を見直したりして、中学校生活につなげたい。二つ目は勉強です。もちろん小学校よりも中学校の方が、勉強や学習について難しいと思う。だから、今のうちに予習などをしておくことが大事だと思ふ。ほくは英語を習っているのですが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。このような二つのことを中学校でがんばりたい。

運動会中止のお知らせ

今年度10月16日(日)開催を予定しておりました「第91回入山辺地区大運動会」は各団体と協議の結果、新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止の決定をいたしました。開催を楽しみにして下さった皆様には大変申し訳ございませんが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

